



地域研究（欧州）



担当講師 入稻福 智

このページでは、授業の目標やテーマについて説明します。
以下の文章を読み終えたら、次頁の問題に答えて下さい。

授業の目標・テーマ

私たちの国の法、政治・行政、経済、文化・スポーツといった諸般の制度・案件は、西洋、つまり、ヨーロッパとアメリカの影響を強く受けています。そのため、私たちは東洋にしながら、西洋的なものに囲まれ、生活しているといっても過言ではありませんが、西洋、特に、ヨーロッパとは、どのような地域でしょうか。その説明は決して容易ではありませんが、例えば、四方を海に囲まれた日本とは異なり、①ヨーロッパでは多くの国が隣接している点を指摘することができます。特に、スイスは四方をドイツ、フランス、イタリア、オーストリアに囲まれていて、海には接していません。また、「西ヨーロッパの動脈」と呼ばれるライン川は、スイスから、フランス、ドイツ、オランダといった国々を通り、海へ流れ出ます。

このような地理的特性の下、②古えより人々は容易に、また、日常的に国境を越えて移動してきましたが、時として、それは③侵攻・侵略行為でした。そのため、④和平の重要性も強く主張され、様々な試みがなされてきました。

この授業では、ヨーロッパの地理的特性、歴史（特に、ヨーロッパ統合の歴史）、⑤理念・基本的価値、生活・文化について、また、ヨーロッパに平和をもたらすため、諸国が協力し、行ってきたことについて説明します。特に、第2次世界大戦後の平和の確立に大きく貢献してきた⑥EU（ヨーロッパ連合）について深く取り上げ、ヨーロッパの現状・実態や⑦現代ヨーロッパが直面する問題（移民・難民の大量移入、ポピュリズム、環境問題、イギリスのEU離脱、フランスにおけるデモ（黄色のベスト運動））について解説します。

以下の問題に答えなさい。

- 前頁の波線①の箇所について、以下の問題に答えなさい。
 - 四方を他の国に囲まれたヨーロッパの国を挙げなさい。
 - かつては一つの国であったが、現在は分裂しているヨーロッパの国を挙げなさい（答えは前頁に記載されていませんが、授業で説明します）。
- 前頁の波線②の箇所について、以下の文章を読み、正しいかどうか検討しなさい（答えは前頁に記載されていませんが、授業で説明します）。
 - ドイツでは、大学で公営バスに乗り、終点まで行くとフランスであったりすることもある。
 - ヨーロッパでは、失業すれば、自分の国の職業安定所ではなく、他の国の職業安定所に行く人もいる。
 - ヨーロッパの大学生のほとんどは留学を経験し、3ヶ国語以上、話せるのが平均的である。

- (4) 2020年2月以降、ヨーロッパでは新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっている。そのため、多くの国では、第2次世界大戦後最大の危機に直面しているが、ヨーロッパ中で感染者が増えている理由として、国境を越えた人々の移動が活発なことが挙げられる。

3. 前頁の波線③の箇所について、以下の点について説明しなさい（答えは前頁に記載されていませんが、授業で説明します）。

- (1) ヨーロッパにおいて、第1次世界大戦（1914～1918年）とはどのような戦争であったか。
- (2) ヨーロッパにおいて、第2次世界大戦（1939～1945年）とはどのような戦争であったか。
- (3) ドイツとフランス争いは、ヨーロッパ諸国の統合（欧州統合）にどのような影響を与えたか。

4. 前頁の波線④について、特に第2次世界大戦後、どのような取り組みがなされてきたか説明しなさい（答えは前頁に記載されていませんが、授業で説明します）。

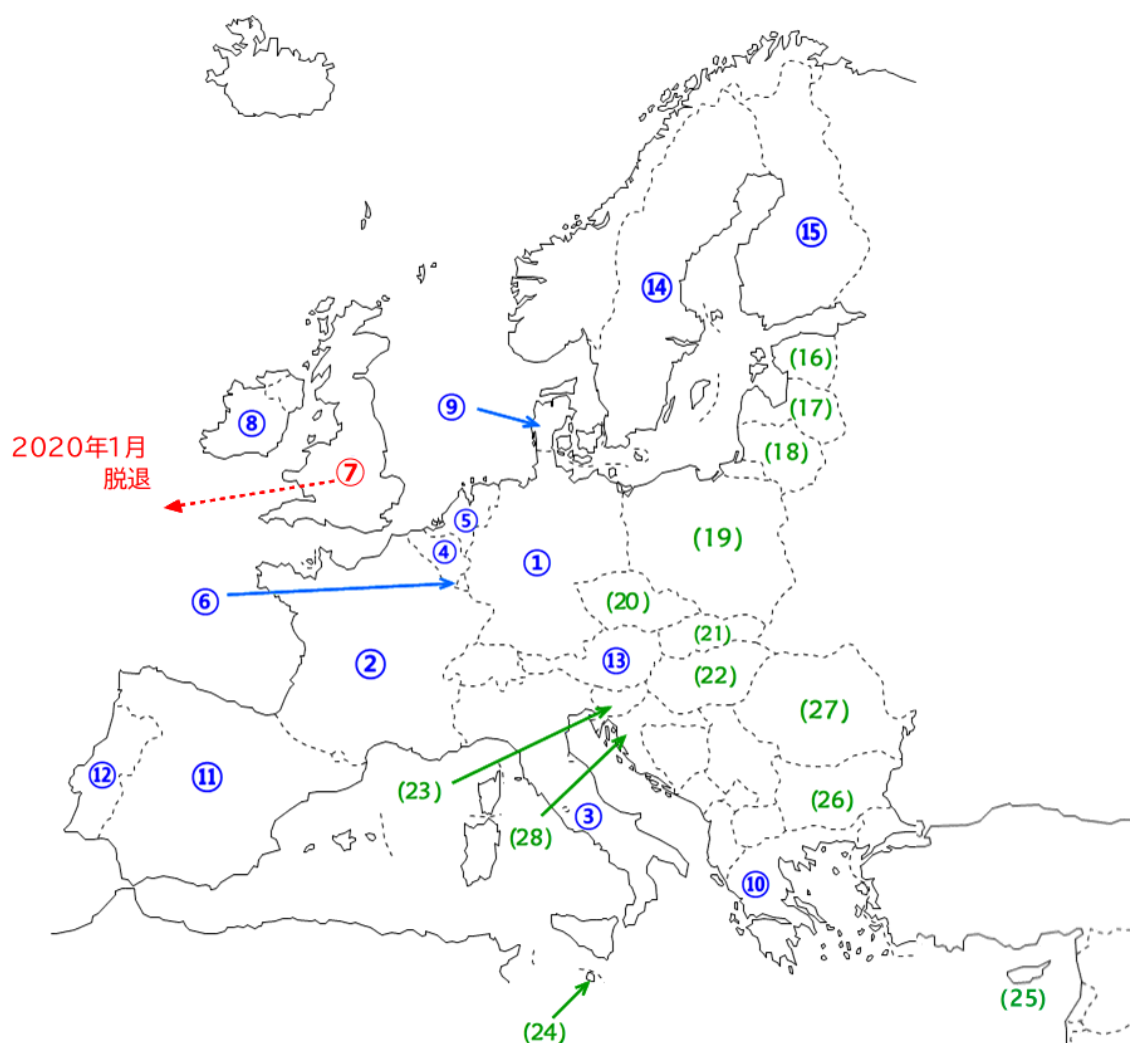
5. 1頁の波線⑤に関し、授業では以下の点について授業で説明します。

- (1) 民主主義、人権・基本的自由の尊重・保護
これらの観点から、地理的にはヨーロッパに属すが、ヨーロッパの国として扱われていない国を挙げなさい。
- (2) 社会福祉の充実化（ソーシャル・ヨーロッパ）、環境保護の発展、現代的な法の整備
- (3) 町並みの整備、景観・文化財の保護（封建制度の名残）
- (4) 自由主義（個人主義）、家族の多様化、余暇の尊重

6. 1頁の波線⑥に関し、以下の点について説明しなさい。

- (1) 今日、「ヨーロッパ」とは一般に「EU（European Union 欧州連合）」を指す。第2次世界大戦後（直後）のEU統合と東西冷戦終結後のEU統合の違いについて
- (2) 2020年2月以降、EU加盟国内では新型コロナウイルスに感染する者が増え、加盟国は第2次世界大戦後、最大の危機に直面しているが、感染拡大はEU統合とどのような関係があると考えられるか、また、感染拡大はEU統合にどのような影響を及ぼしているか。
この危機を克服するため、EUはどのようなことを行っているか。

EU 加盟 27ヶ国 (2020年4月現在)



1952年7月	① ドイツ、② フランス、③ イタリア、④ ベルギー、⑤ オランダ
1958年1月	⑥ ルクセンブルクが3つの欧州共同体を設立
1973年1月	⑦ イギリス、⑧ アイルランド、⑨ デンマークが新規加盟
1981年1月	⑩ ギリシャが新規加盟
1986年6月	⑪ スペイン、⑫ ポルトガルが新規加盟
1989年12月	東西冷戦の終結
1995年1月	⑬ オーストリア、⑭ スウェーデン、⑮ フィンランドが新規加盟
2004年5月 東方拡大	(16) エストニア、(17) ラトビア、(18) リトアニア、(19) ポーランド (20) チェコ、(21) スロバキア、(22) ハンガリー、(23) スロベニア (24) マルタ、(25) キプロスが新規加盟
2007年1月	(26) ブルガリア、(27) ルーマニアが新規加盟
2013年7月	(28) クロアチアが新規加盟
2020年1月	イギリス (⑦) がEUから脱退し、EUは27ヶ国体制に縮小

※ 上掲の地図中と表内の数字は一致します。

**EU加盟
27ヶ国**

オランダでは比較的容易に会社を設立することができる。そのため、例えば、ドイツ人がオランダで会社を設立し、その後、会社をドイツに移転させることがあるが、EU法はこれを認めている。

北欧スウェーデンで離婚は容易に成立する。外国人でも、この国に来れば、容易に離婚できる。

フランスの美術館は、他の加盟国の国民の入館料を高め設定してはならない。

サッカーの試合で加盟国の国民は外国人選手として扱われない。つまり、外国人枠によって制限されない。

2020年1月 脱退

※16~18は旧ソ連構成国

ドイツ法上、ビールに香料を入れることは禁止されている。しかし、他の加盟国より香料入りビールを輸入し、販売することは禁止されない。

日本発・EU加盟国行きフライトの到着が3時間以上遅れるとき、乗客は航空会社に補償を請求できる。ただし、加盟国の航空会社が運航するフライトでなければならない。

現在、大勢の移民がEUに押し寄せられている。EU内では移動の自由が保障されており、EU内に入った移民の大多数はドイツを目指している。移民の受け入れを決定するのは、EUではなく、加盟国である。

ギリシャの財政赤字がユーロ危機に発展した。ユーロ導入国はギリシャを支援しているが、EU法に違反しないか争いがある。

